

詩の力

何可言哉 と思つても

世帯には 何だか いえあせり

そこで フいく うそを言う

バビブバビブバボ

うちの世帯には 何かがある

この歌 書いていて

詩の発想 は あどろしい

はしか べビブボ は 言いておいて

のが わかる

知り 夢の 作家がいる

めまねる 草を みるには

の 作詩は

詩 と 呼ぶと ちがう 仕事をしていく

作詩 ばかりでは 次々 じつと かがみと

大変 と言つていた

頭の中 詩が多く なるけれど 違うもの その上 作曲家

との か およひ どの歌も いろいろ

と ぶつかしい 仕事のごうた

いい歌は 作詩の力が大きい

夜をきくと

作詩はこれか 急にすゝようになつた

作詩は わかると なるほどと なる

最近の うら 音程が ずくずい

んわくの 深夜便が かつたの歌を

とりまけてい

今夜は どのろくが ぞいかと

気にしても おてしやう にとが多い

いい詩は うらにか ちみだして

今夜も ぞつたり

2025
5/4